



体を鍛えてね！用具の寄付



野口和之さん（北栄町：体育指導委員長）から、体力テスト測定器具やマット、DVDプレーヤーが寄贈され、当別町総合体育館に配備されました。

この日はスポーツ少年団に所属する56名が5種目の体力テストに挑戦、今回寄贈いただいた器具も活用されました。

(2月12日)

真剣！ブランドセミナー



当別町にある素材を活かして確かなブランドを確立しようと、町と町商工会、JA北石狩、当別新産業活性化センターが協力して「地域ブランドセミナー」を開催しました。

講師には道東地方でご当地グルメの開発に携わったオホーツク圏地域食品加工技術センター研究員

抜山嘉友氏を招き、昨年の全国B-1グランプリで10位入賞した「オホーツク北見塩焼きそば」企画から、地域飲食店の取組みの紹介があり、80名の参加者は、熱心に耳を傾けていました。

(1月25日)

スウェーデン大使来町



渡辺芳樹在スウェーデン大使が本町を訪問されました。

大使は昨年8月に着任し、スウェーデンのレクサンド市との交流を続けている当別町に特に関心を持たれての来町です。

北海道が推進する北方圏構想に基づき、スウェーデンヒルズに見られるまちづくりや、レクサンド市と当別町との24年にわたる交流の実績にふれ、渡辺大使も「住民が自ら盛り上げている相互交流であり、他に例をみない大変素晴らしい事例です。」と喜ばれていました。 (2月3日)

広 告



シンプル！おしゃれ！



スウェーデンの家庭料理を紹介する「スウェーデン料理教室」が西当別コミュニティーセンターで開催され、町民のほか札幌市や利尻町などから21名が参加しました。

講師は、スウェーデン大使館参事官夫人の津金レイニウス豊子さん。サーモンをカルパッチョ風にしたマリネやアップルケーキなど、3品が約2時間ほどで完成。日本でも手に入れることができる食材を使った料理ということもあり、参加した皆さんは「家でもできそう。また作ってみよう」と話されていました。(2月11日)

秘境はすぐそこに



当別移住促進協議会が主催する「21世紀鮎田塾」がふれあい倉庫で開催され、約40名が参加しました。講師の中島宏章氏は、町内に生息していることを知られていないコウモリの話を中心に「当別町の自然は大雪山のような大自然ではありませんが、見慣れた風景の中にも驚くような動植物、風景が隠れているものです。」と話していました。

参加者からは「コウモリを見つけるポイントは？」「町内で探すとすれば？」など質問があり、すぐそばにある秘境探しに興味津々の様子でした。(2月16日)

広 告